

九重町教育委員会 教育長 殿

九重町立小学校のあり方に関する意見書

九重町立小学校のあり方検討委員会

<令和8年3月>

「九重町立小学校のあり方」に関する意見書

1. はじめに

九重町立小学校のあり方検討委員会に対し、九重町教育委員会から令和7年9月11日付け、九教振第1457号で検討依頼のあった内容について第1回から第5回までの計5回にわたり議論を行いました。児童数の減少や地域の現状を踏まえ、検討依頼事項である次の2点に関して検討を行い、議論した内容を整理し、本意見書にまとめました。

- (1) 魅力ある学校づくり
- (2) 少人数教育及び地域密着型教育の充実

2. 魅力ある学校づくりについて 【検討依頼事項①】

小学校教育における「魅力ある学校」とは、学校（児童・教職員）と地域（住民）がつながり、地域の特色を生かした豊かな学習・体験活動が可能である学校と考えます。児童が地域に愛され、地域とともに育つ実感が得られる学校づくりが必要です。

地域との連携による特色ある教育の推進

本町の小学校では、小規模校という特徴を活かし、地域の伝統・文化・産業を活用した総合学習における体験学習や合同学習、社会見学、修学旅行、つながり学習、共通指導、ここのえ学等により、特色ある教育を展開してきました。さらに、親子山村留学やゲストティーチャーを活用した地域との関わりを強化することで、児童の地域理解と自己肯定感の向上につなげることが重要です。

このような小規模校ならではの魅力を効果的に外部へ情報発信することで、多くの人の目に触れ、選ばれる学校として人口流入を図るなどの取組の検討も必要と考えます。

「ここのえ学園の子ども」としての一体感の醸成

児童が自分は「ここのえ学園の一員である」と実感できるように、全校合同の取組強化やテーマソング、共通Tシャツなどの象徴的活動を通じ、児童が「ここのえ学園の一員」としての意識を持つよう促す取組や、こども園から小学校、中学校までの9年間を見通した各種取組により、児童・学校・地域・家庭が一体となった教育環境を形成することなどが重要です。

横のつながりの強化

他校の児童との交流機会（集合学習、体験学習、オンライン学習など）を拡大することにより、児童同士の学びの共有や地域理解を深め、小1プロブレム・中1ギャップの更なる軽減や社会性の育成を図ることが期待されます。また、この交流機会を現在の5・6年生だけでなく低学年段階に拡充することで、より効果が発揮されると考えます。

地域・保護者との協働体制の整備

小規模校ならではの利点を活かし、保護者や地域住民が主体的に関わる学習支援活動（職業講話、地域活動、学習塾等）を促進することが求められます。また、教員が地域との接点を持ちやすい仕組みづくりとして、過去のゲストティーチャーや特技を持つ住民をリスト化した「人材バンク」やコーディネーター（九重町地域学校協働活動推進員など）の活動充実も検討すべきです。

3. 少人数教育及び地域密着型教育の充実について 【検討依頼事項②】

ここのえ学園基本計画を活かした取組の深化

平成27年策定のここのえ学園基本計画に基づき、こども園と小学校・小学校と中学校の接続教育や地域協働活動を継続・発展させ、児童一人ひとりの学力向上・生きる力の育成を図ることが重要です。

集合学習やつながり学習を全学年に拡大し、児童の安心感や自己肯定感を高める取組が必要だと考えます。

地域資源の効果的活用

地域が主体となり、児童が地域で学び、地域の人材や文化に触れられる場・機会を創出することが重要です。地域住民がゲストティーチャーとして仕事への情熱や地域の歴史を直接語る機会を多く設けることにより、児童は多様な大人との関わりの中で、将来の「生きる力」を養うことができると考えます。

学校は児童と地域をつなぐ役割を担い、教員は地域の特色や人材を活用し、地域活動をサポートする立場で関わることが必要です。

なお、教員は地域ごとの特色や魅力を理解する必要があることから、研修等で地域について学ぶ機会の検討も必要です。

少人数教育の強みを活かした個別支援

単学級でのきめ細やかな学習支援や生活指導を通じ、児童の学力・社会性の向上などを図り、地域の人材や保護者と連携した多様な学習の機会を設けることで、教育効果の最大化を目指していくことが必要であると考えます。

持続可能な地域連携の仕組づくり

教員が地域へ協力を求める際の心理的・事務的負担を軽減するため、地域の人材バンクやコーディネーターの活動を充実させ、教員・保護者・地域が協働できる体制を構築することで、長期的に地域密着型教育を持続可能なものにできると考えます。また、それと同時に大人が生き生きと活動する姿を子どもに示すことで、地域への愛着（郷土愛）を育むとともに、キャリア教育の充実についても促進することが期待されます。

4. 総括

「魅力ある学校づくり」と「少人数教育及び地域密着型教育の充実」は切り離すのではなく、一体的な取組として進めることが重要です。

児童、教員、保護者、地域住民が互いに関わり合う仕組を整え、児童が地域に愛着を持ち、学び・生活・将来のキャリアに活かせる教育環境を構築することが求められます。

教育委員会には、各学校の特色ある教育活動を支える施策や地域連携の支援を継続的に実施いただくことを期待します。

5. 学校区別地域の特色

「ここのえ学園基本計画」に基づく共通のカリキュラムは、教員の負担軽減と学校間の格差是正に有効であり、一定の成果が出ていると思われれます。検討委員会で学校区ごとの地域の特色を一覧表としてまとめましたので、これを「ここのえ学園基本計画」及び「み

んなが育てる九重っこ」に追記し、今後のカリキュラム作成時に活用していただきたいと考えます。これにより、各学校が地域の特色を活かした教育活動を企画・実施しやすくなると期待しています。また、時代の変化に合わせた「活動の新陳代謝」も不可欠であることから、今回整理した『校区の特色を生かした地域協働の取組』は、生きた教材となるよう常に更新し続けることが望まれます。

6. 付帯意見

現在の小学校6校維持という計画の中で、学力調査やいじめ・不登校調査、問題行動調査などを見ても、全国平均と比較しても特に問題はない状況は理解しています。

また、小規模校だからできている少人数ならではの体験活動の充実やきめ細やかな指導、スムーズな異学年間の交流などがあり、デメリット解消に向けた「ここのえ学園基本計画」での集合学習やつながり学習などの取組も一定の成果を上げていると考えます。

しかし、今後の児童数の推移を見ると令和14年頃には現在の半数程度になるため、集団教育活動の制約や多様な考えに触れる機会、切磋琢磨する機会の減少など小規模校の課題解消に向けた「ここのえ学園基本計画」の取組だけでは、限界を迎えることが懸念されます。

そのため、教育効果・教育環境・教育財政・学校施設の老朽化等の観点から、まずは教育委員会であらゆる可能性を含めた調査・研究を開始する必要があると考えます。なお、具体的な方向性などの検討については、教育委員会の調査・研究結果のデータ等をもとに、広く地域住民や保護者などの意見が反映される会を設けるよう、本検討委員会の中で意見があったことを申し添えます。

7. 付録

校区の特色を生かした地域協働の取組（一覧表）

各学校が特色ある教育活動の計画・実施に活用するための一覧表を検討委員会で作成したので、付録として添付します。「ここのえ学園基本計画」及び「みんなで育てる九重っこ」の最終ページに掲載する等、今後の活用を期待します。

なお、個人名については掲載を控えるよう、配慮をお願いします。

8. 検討委員会開催状況

令和7年 9月11日 第1回検討委員会

○検討依頼事項について

- ・魅力ある学校づくり
- ・少人数教育及び地域密着型教育の充実

○現在の状況について

- ・学校再編整備計画
- ・児童生徒数の推移
- ・ここのえ学園基本計画 等

- 令和7年10月23日 第2回検討委員会
 ○親子山村留学について
 ○地域の特色について
- 12月23日 第3回検討委員会
 ○学校区別の地域の特色について
 ○各地域での学校とのかかわりや関係づくりについて
- 令和8年 2月27日 第4回検討委員会
 ○校区の特色を生かした地域協働の取組について
 ○学校と地域のかかわり
- 3月27日 第5回検討委員会
 ○九重町立小学校のあり方に関する意見書について

【検討委員名簿】

役職	氏名	所属	要綱上の区分
委員長	山崎 清男	大分大学名誉教授	(6) 学識経験者
副委員長	小野 宏幸	このえ小学校運営協議会代表	(1) 住民代表
委員	永樂 清徳	東飯田小学校運営会議代表	(1) 住民代表
〃	田中 淑恵	野上小学校運営会議代表	(1) 住民代表
〃	佐藤 義明	野矢小学校運営会議代表	(1) 住民代表
〃	江上 共江	飯田小学校運営会議代表	(1) 住民代表
〃	吉光 巧一	淮園小学校運営会議代表	(1) 住民代表
〃	清竹 伸一	南山田小学校運営会議代表	(1) 住民代表
〃	吉武 智明	東飯田小学校保護者代表	(2) 小学校保護者代表
〃	宇佐 昌広	野上小学校保護者代表	(2) 小学校保護者代表
〃	佐藤 善信	野矢小学校保護者代表	(2) 小学校保護者代表
〃	高橋 洋平	飯田小学校保護者代表	(2) 小学校保護者代表
〃	佐藤 暁史	淮園小学校保護者代表	(2) 小学校保護者代表
〃	稲田 加奈	南山田小学校保護者代表	(2) 小学校保護者代表
〃	仲摩 幸代	みつばこども園保護者代表	(3) こども園保護者代表
〃	姫嶋 佳奈	飯田こども園保護者代表	(3) こども園保護者代表
〃	今永 克明	東飯田小学校長	(4) 学校長代表
〃	日野 幸子	大分県教職員組合 玖珠支部	(5) 教職員代表
〃	甲斐 忍	大分県教職員組合 玖珠支部	(5) 教職員代表